

農林水産技術推進会議「平成27年度第1回水産部会」外部専門家の皆様からの意見概要

(1) 生ノリの保存技術及びファストフィッシュ製品の開発

川崎部長

- ・ いかによりマーケットの需要に対応させるかが重要であり、流通ルートを経るなどアウトプットを見据えた対策が必要であろう。
- ・ 伝統的な食べ方の提案も必要である。

田中教授

- ・ 県が実施する取組なので加工業者が一体となって取り組むよう主導する必要がある。
- ・ マーケットの需要として若者の視点（ノリ＝和食ではなく、洋食の可能性等）も必要であろう。また、消費の拡大にはコンビニの利用も有効である。

日野顧問

- ・ 生産者側からの提案ばかりでなく、フェアの開催等でアイデア料理コンテストを開催するなど消費者側からのアイデアをくみ取る視点が重要であろう。
- ・ 開発後、千葉県の特産品として他県との差別化が必要ではないか

(2) 東京湾産マコガレイの生活史を考慮した資源制限要因の抽出と増産手法の開発

田中教授

- ・ 一般的に資源量の大小は、加入量の大小で決まるので中の瀬に来る前が問題であろう。
100匹中一匹入り混じったら、マイクロサテライトでの検出は困難。
- ・ 過去に確認されている産卵場に浜松町沖があるが、現状の確認が必要ではないか

日野顧問

- ・ 堅実で科学性がよく出ている良いアプローチだと思うが、ふ化率の試験は説得力がない。
- ・ 放流効果が出ていないようなので、研究を放流手法に反映させる必要があるのでは

(3) 貧酸素水塊が東京湾沿岸浅海域の底生生物に与える影響の解明

日野顧問

- ・GIS に展開していることが評価できる。今後、データの熟度を向上する必要があるものの、システムとして説得力があり価値の高い取組である。

川崎部長

- ・元のデータを10%はずしてシステムの有効性を検証するとよい。
- ・200mメッシュにして区域を沿岸域まで広げたが需要はあるのか。